謹賀新年

平成27年元旦

日大通教 校友会報

発行所
日本大学通信教育部校友会
〒102-8005
東京都千代田区九段南4-8-28
TEL・FAX 03（3234）5858
発行責任者　白戸　忠志
編集責任者　師田袈裟茂

子夏曰く、博く学びて篤く志し、切に問いて近く思う、仁其の中に有り。
子夏がいった、「広く学んで志望を固くし、迫った質問をして身近に考えるなら、仁の徳はそこにおのずから生まれるものだ」。
論語

新年のご挨拶

日本大学通信教育部校友会
会長　白戸　忠志

新年明けましておめでとうございます。

全国校友の皆様に、心から新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、校友会に対し、皆様からのご支援・ご厚情に感謝申し上げます。

昨年は台風や集中豪雨による土石流、御嶽山の噴火など、天災に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

日本大学通信教育部は昨年8月25日（月）新たに市ヶ谷キャンパスが完成し盛大に竣工式が行われました。この新校舎で10月18日（土）に平成26年9月卒業生119名の方々を校友会正会員として新しくお迎えいたしました。また、通信教育部校友会の事務局も東京都支部と一緒に日本大学会館の8階に移転しました。

靖国通りに面し、中央線や外堀が眼下に望める一室です。校友の皆様には、機会があればぜひお立寄りください。

事務局は月・火・金の10時から18時まで事務職員が居ります。

昭和47年5月に発足した私たちの校友会は今年で43年になり、校友会活動も毎年卒業された正会員をお迎えし、先輩の築かれた通信教育部校友会をこれからも発展していかねばなりません。

校友会活動を活性化するために皆様からご要望の役員会費の改正を実施しましたので、ぜひご参加ください。

通信教育部校友会では、日本大学の通信教育課程で学び卒業すれば、通信教育部校友会の正会員となります。（会則第6条の1）

また、専攻された学部の卒業生でもあります。各学部にはそれぞれ校友会があり、会員相互の親睦・向上と大学の振興に寄与することを目的に活動しています。

この学部別校友会と同等に通信教育部校友会が活動できるのも43年前に通信教育部校友会設立にご尽力いただき、今日までの発展にご協力いただいた諸先輩のお力です。

新年にあたり今後の校友会を考えてみたいと思います。

少子高齢化はこれからも進みます。望めば大学での勉学は誰でも受けられる時代になっております。通信教育は老若男女を問わず全国で学べる学習方法です。校友会でも学生の増員にこれからも積極的に取組んでまいります。また、学生の支援にも大学に協力し、学友会と共に取組み、卒業生が増えれば校友会の活性化にもつながると思っております。

これからの通信教育部校友会の発展は支部の活性化が不可欠です。ブロック総会・支部総会の開催に補助をし、本部総会の出席には交通費、また会報発送にも補助費が予算に組まれております。支部発展に活用してください。この補助費請求はその年度内で処理をお願いします。口座振替の手数料も統一の方向で検討しておりますので、ご理解、ご協力ください。

昨年は近畿ブロック総会が奈良県支部主催で開かれました。オール日大奈良県支部長と幹事長のご参加があり、関東ブロック総会は栃木県支部主催で開催、栃木県知事のご講話をいただきました。

校友会の活性は支部が中心であると改めて認識しました。少ない予算で支部の運営は厳しいと思いますが、支部長を支援し支部発展にご協力下さい。

1月24日（土）に桜門会館で新年会が開催されます。大学教職員の方々・学生・他学部校友会役員の皆さんなど多くの方が参加された楽しい行事を計画、5月23日（土）は第44回定期総会を予定しております。校友の皆さん、ご参加下さい。

日本大学校友会本部では、平成31年の創立130周年に向けての記念事業を実施しております。詳細につきましては本部校友会誌「桜縁」や「日大新聞」などで確認して下さい。

通信教育部校友会にも記念事業について要請があります。校友の皆様のご協力をお願いいたします。

先輩方の築かれました通信教育部校友会が、益々発展するように役員一同今年も頑張ってまいります。

新年に当たり、校友皆様のご多幸を心からお祈り申し上げ、今までと同様ご理解とご協力をお願いし、新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶
「新しい通信教育部の姿」

日本大学通信教育部
部長　福田　弥夫

日本大学通信教育部校友会の皆様に初春のお喜びを申し上げます。

おかげさまで市ヶ谷新キャンパスへの移転も順調に完了し、9月から新校舎においてスクーリングが開講され、10月18日には新キャンパスでの記念すべき第1回学位記授与式が執り行われました。このように昨年度の大事業であった、本学発祥の地「神田三崎町」から「市ヶ谷」への移転は無事に完了できましたが、もう一つの大事業であるカリキュラムの改訂は諸般の理由から思うようには進んでおりません。通信教育部の改革は、市ヶ谷移転をもって完了したのではなく、ソフト面での改革の実現が、終わりなき改革の一つの到達点となります。

さて、平成27年は通信教育部にとってどのような年になるでしょうか。昨年の移転事業のようなハード面での大プロジェクトはありませんが、ソフト面では事務処理用基幹システムの新システムへの更新が予定されております。遅れているカリキュラムの改訂につきましては、現在教職課程の認定との関係で作業が止まっております。これは、本学特有の問題ではないため、解決に向けて私立大学通信教育協会全体で取り組んでおります。問題点がクリアーされた段階で一気に進めることができる状態にまで準備は整っておりまして、一日も早い問題の解決を心待ちにしております。

次にサテライトスクーリングです。市ヶ谷移転に伴い、日本大学本部からICT機器充実のための特別な御支援をいただき、同時双方向でスクーリングを実施する体制が整いました。昨年10月の地方スクーリングにおいて大垣と市ヶ谷との間で実施に向けたテストを行いましたが、画像音質共に満足のいく結果が出ました。来年度からは、いよいよ東京会場と地方会場、あるいは地方会場と地方会場を結んだサテライトスクーリングが実施されることになります。これによりまして、学生のスクーリング受講の便宜は飛躍的に高まり、「スクーリングの日大」がさらに充実することになります。このように平成27年は、派手さはないけれども内部の一層の充実に努める年となります。

大学全体に目を転じますと、大学創立130周年を記念して開設される二つの新学部が、文部科学省から設置を認められる年となります。「競技スポーツ学部」と「危機管理学部」は、いずれも時代と各界からの強い要請に応える内容となっております。この新学部との関係ですが、通信教育部がこれまで培ってきたeラーニングに関する教育的資産を、新学部における教育の充実のために活用することが要請されております。さらに、大塚学長がその必要性を強く提唱されている「全学部共通教育」の実施に向けても、通信教育部の教育的資産の活用が不可欠となっております。このように、日本大学における通信教育部の役割は、これまでの4学部8学科・専攻の通信教育課程に限定されず、日本大学全体におけるICT活用教育の司令塔的立場へと変化してまいりました。これはICT活用教育の重要性にいち早く着目し、メディア教育を実施してこられた先輩方のお陰であり、その先見の明に驚かされると共に、敬意を表する次第です。

今年度の通信教育部校友会の全国大会の際には、皆様を市ヶ谷新校舎へご案内し、充実した設備等をお披露目したいと思います。

これからも、これまでと相変わらぬご支援をお願い申し上げますとともに、通信教育部校友会の益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

未年への期待

学校法人日本大学理事長
日本大学校友会会長
田中　英壽

通信教育部校友会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

平成26年は皆様にとり、どのような一年でしたでしょうか。母校日本大学にとっては、創立125周年という区切りの年でした。昨年3月末には卒業生総数が109万7千人となり、今春には一挙に111万人になります。改めて歴史の重みを痛感します。

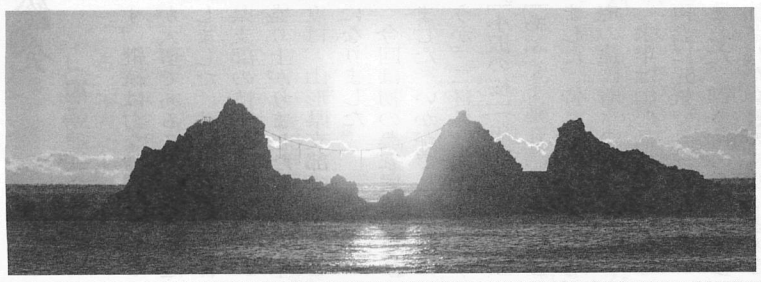
また、平成26年は創立130周年記念事業が形となって、その姿を現した一年でもあります。まず、3月に学生寮4棟が完成して、4月から約250の学生が新生活をスタートさせました。初めて親元を離れて一人暮らしを始める若者には色々な不安があるでしょうが、学部の垣根を越えて新たな友人と生活することでその不安も解消されることでしょう。学生相互が切磋琢磨して、人間的に成長することを大いに期待しています。

続いて10月1日には、念願の「日本大学病院」が神田駿河台に開院しました。本学初の本部直轄の病院です。千代田区内唯一の大学病院として高度医療拠点となるばかりでなく、日本大学にとっても今後整備される歯学部校舎・病院を含めた医療系施設の拠点になります。日本大学そして校友の皆さんにとって、誇りとなる事業とお考えください。

また、通信教育部校友の皆様にとって平成26年は、学び舎が長年住み慣れた三崎町の地から市ヶ谷へと移転した年として記憶されることでしょう。大学本部の隣接地に現れたその姿は、モダンな中に大学としての気品を湛えております。是非一度、上京の折に御来校ください。これもまた皆様の誇りとなる事業であると考えております。

日本大学は、2019年（平成31年）に創立130周年を迎えますが、「日本一教育力のある大学」を目指した教学施策と連携する記念事業はまだまだ進行しております。引き続き母校の発展に期待していただき、変わらぬ御支援を賜りますよう、この場をお借りしてお願い申し上げる次第です。

今年一年が皆様にとりまして幸せな年となり、通信教育部校友会が更に発展されることを心からお祈り申し上げます。



新年会のお知らせ

■開催日時■平成27年1月24日（土）
受付14:30～15:00 新年会15:00～18:00
■会　場■日本大学桜門会館4階（桜ホール）
■会　費■男性：7,000円■女性：6,000円
■新卒：4,000円■学生：2,000円

※会場はJR市ヶ谷駅徒歩1分の桜門会館です。
※参加は校友会事務局まで TEL・FAX03(3234)5858

ご卒業おめでとう

平成26年9月卒業生
【学部別卒業生数】

法学部	法律学科	15名
	政治経済学科	16名
文理学部	文学専攻（国文学）	7名
	文学専攻（英文学）	32名
	哲学専攻	6名
	史学専攻	5名
経済学部	経済学科	11名
商学部	商業学科	27名
	計	119名

【表彰を受けた方々】

■優等賞
文理学部　哲学専攻　早川真理恵

■通信教育部長賞
商学部　商業学科　石田　桂子

■精励賞
文理学部　哲学専攻　中村　敏子

■校友会長賞
文理学部　文学専攻（英文学）　横岸澤稚子